

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)シュールメゾンボラ箕面Ⅲ	階数	地上5F
建設地	大阪府箕面市萱野5丁目1488番1,2	構造	S造
用途地域	第二種中高層住居専用地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,880 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年8月 予定	評価の実施日	2017年8月21日
敷地面積	2,309 m ²	作成者	中島 達雄
建築面積	842 m ²	確認日	2017年9月5日
延床面積	3,641 m ²	確認者	木村 貞基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (184 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 83% (138 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 83%

④上記+ 83%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	敷地外周部に緑化を施すこと、空気環境の向上を図ることで利用者が快適に過ごせる様配慮した。	その他 特になし
Q1 室内環境	全面的にF☆☆☆☆の建築材料を採用し、個室においては床面積の1/10以上の有効開口面積の自然換気性能によって空気質環境の向上に配慮している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地外周部に緑化を施すことで良好な景観を形成している。
LR1 エネルギー	断熱性能に配慮し外皮熱負荷の抑制を図っている。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮した。
Q2 サービス性能	ゆとりある個室の床面積や建物全体の壁長さ比率に余裕をもたせ、フレキシビリティの向上に配慮している。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上げが容易に分別可能であり、部材の再利用可能性向上への取組みに配慮している。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2017年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H29-0077

Osakafu-新築・既存 2017V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)シュールメゾンポプラ箕面萱野 新築工事					
		建設地	大阪府箕面市萱野5丁目1488番1,2,3,6					
		用途/区分	病院					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					3		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	—	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
				住戸・宿泊	3.0			
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価					5.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価					3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価					3.0	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価					3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価					2.2	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				2.0	3	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項		高い断熱性等による省エネルギー性に配慮した。						